

日本が抱えていた問題が コロナ禍で表面化

2月11日、「2021年大阪
民医連学術運動交流集会」が行
われました。今年は、コロナ禍
の影響でオンラインでの開催と
なりましたが、大阪民医連全
体の法人から約1300人が参
加し、みみはらグループからも
数の参加がありました。

「共存社会、この時代を乗り
越えるために」がメインテー
マ。格差と貧困、医療・介護・
福祉体制の困難、子育てにやさ
しくない社会、個人責任、低賃
金と不安定雇用など、これまで
も日本社会が抱えていた問題が
コロナ禍で一挙に表面化しまし
た。しかし、菅内閣は今になっ
ても個人責任、まずは自助との
姿勢を変えようとせず、国民の
困難は限界を越えています。そ
のような状況下で行われた学術
運動交流集会是、実に様々な演
題が発表されました。

エッセンシャルワークを 重視する社会に

午前中の全体会では、講師に
齋藤幸平さん（大阪市立大学大
学院経済学専攻准教授）をお
迎えし、「コロナから気候危機
へ」と題して講演をいただきま

した。「コロナ禍の後に経済成長
を重視する社会へのV字回復を
目指せば、自然破壊は加速し、
取り返しのつかない気候危機を
迎えることになる。また、コロ
ナ禍でエッセンシャルワーク
（日常生活を送るために欠かせ
ない医療・福祉、農業、小売・
販売、通信、公共交通機関など

の仕事を抱っている人）の重要
性が明確になった。経済重視か
ら継続可能で、これまでとは別
の豊かさを求める社会を目指す
必要がある」と訴えていた。
コロナ以前に政府は、病院の
統廃合を医療機関を名指して
進めようとしていましたが、コ
ロナ禍で日本の医療体制が十分
でないことが明らかになりました
た。「コロナ禍を乗り越えたあと
の社会は、エッセンシャルワー
クを重視する社会でなければな
りません。」

大阪民医連学術運動交流集会 5つの分科会で 座長賞、を獲得!!

午後からの分科会では、13分
科会、総勢145の演題報告が
あり、みみはらグループから49
演題を発表し、5つの分科会で
座長賞を獲得しました。
はじめてのオンラインでの交
流集会でしたが、大きな混乱も
なく、この1年間に取り組んで
きたこと、経験したことを交流
することができました。

13分科会で
145の演題報告が



座長賞

- 第2分科会 同仁会 田端 志郎（医師）
●理事長として「全たまり場訪問」にとりくんで
- 第3分科会 同仁会本部人事部 酒井 見名子（保健師）
●同仁会における職員のメンタルヘルスを守る取り組み
- 第7分科会 耳原総合病院 朴 暁香（言語聴覚士）
●入院後より早くより安全に食事を開始するために～食事開始・形態選択時のマニュアル作成～
- 第8分科会 耳原総合病院 玉井 里子（理学療法士）
●ADL低下の原因を機能面以外に着目した症例～在宅復帰後を想定することの重要性～
- 第12分科会 耳原総合病院・サポートセンター 出口 和洋（事務）
●大阪府がん診療拠点病院の地域連携室における「がんラダー研修」の取り組み

コロナ下、潜む進行がん「日経」2021年3月1日付

コロナ下、潜む進行がん

外出自粛で検診数減少
発見遅れ、死亡増加懸念も

がん検診の検診数（月別）
19年度 20年度
1月 1000 800
2月 1000 700
3月 1000 600
4月 1000 500
5月 1000 400
6月 1000 300
7月 1000 200
8月 1000 100
9月 1000 100
10月 1000 100
11月 1000 100
12月 1000 100

手遅れになる前に 安心して健診を

コロナ禍でも

職員のヘルスケアに繋げるために コロナ禍のストレスなどを 川柳で表現

HPH川柳NEWWAY 結果発表!

あっち行け コロナと一緒に 体脂肪
ほかにどんな入選作品あるかな?
下はHPH川柳NEWWAY ホームページまたは各フロアの職員階段にて掲示中!

思いやり 労わり合いは 自粛せず
ほかにどんな入選作品あるかな?
下はHPH川柳NEWWAY ホームページまたは各フロアの職員階段にて掲示中!

ZOOM越し 慣れぬがゆえの 照れワーク
ほかにどんな入選作品あるかな?
下はHPH川柳NEWWAY ホームページまたは各フロアの職員階段にて掲示中!

「コロナが心配だから健診は、
また今度に...」。新型コロナウイルス感
染への不安から、健診の受診を控
えるという方が全国的に増えてい
ます。耳原総合病院でも、がん検
診の受診率は昨年比べて6割ほ
どに減少しています。

感じています。職員皆さんにと
ってもこの企画が、1年を振り返
る良い機会になっていければ幸い
です。

（耳原総合病院 加地勇紀）

このような中、心配されるのは
がんなどの発見が遅れ、手遅れに
なってしまうという事態です。が
んは早期の診断が遅れば死亡率
の上昇につながると、海外では具
体的な影響が試算されています。
例えばイギリスの研究チームの調

要」との認識が示されています。
同仁会の事業所では、みなさま
に安心して健診を受診してもらえ
るよう、マスク着用の徹底や定期
的な換気や消毒、受診前の体調チ
ェック、密をさけるための予約時
間の調整など、感染対策に取り組
んでいます。通常診療と区別した
日曜健診も行っていきます。受診を
ためらうことなく、年に一度は健
診を受診しましょう。

健診の予約や日曜健診の日程に
ついては、事業所の窓口にお問い
合わせいただくか、ホームページ
をご確認ください。

（組織健診課 宅田由平）